令和６年度夏秋イチゴ生産者研修会を実施しました

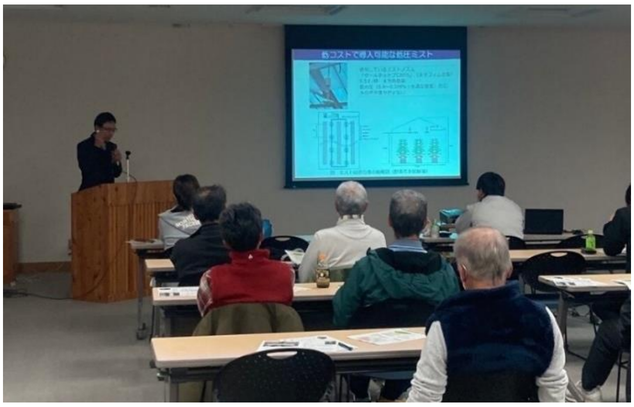
佐久農業農村支援センターでは 12 月 13 日(金)に小海町役場で夏秋イチゴ生産者研修会を開催しました。

南佐久地域は県内有数の夏秋イチゴの産地です。しかし、近年はハダニやアザミウマといった病害虫の発生が問題となっています。また、近年、高温による収量・品質の低下が各地で問題となる中、南佐久地域でも夏季の気温が上がっており、今後影響が出ることが考えられます。今回の研修会では、昨年度より管内で実施している天敵製剤「スワルスキーカブリダニ」によるアザミウマ防除試験結果についての結果報告を行ったほか、県農業技術課の専門技術員から本年度の夏秋イチゴの作柄や天敵製剤活用のポイント、施設栽培での高温対策についての講義を行いました。

研修会の合間や終了後には生産者同士で本年度の栽培状況についての情報共有や活発な意見交換が行われていました。

佐久農業農村支援センターでは引き続き、地域の夏秋イチゴ生産の一助となれるよう、関係機関と連携し、支援を実施していきます。

研修会の様子



意見交換をする生産者ら